

DSR スケールの構成項目の取り扱いについて

透析歴 1 年未満の患者及び小児、認知機能に障害があるに対する検証はできておりません。本スケールは透析歴 1 年以上の成人期～老年期にあたる患者に対し使用します。

各項目におけるデータの抽出は、週始まりの月曜日または火曜日の同日の状態を使用します。ただし、不整脈、左室肥大の有無は心電図の解析データについてはその日に限らず、直近に検査された過去の結果を使用しても問題ありません。

各項目の詳細は下記のとおりです。

1. 性別

男性であれば 0 点、女性であれば 1 点と分類する。

2. 収縮期血圧前

週始まりの月曜日または火曜日の収縮期血圧を抽出する。透析開始前の収縮期血圧と抜針前の透析終了後の収縮期血圧（透析終了し、休憩後の安定した血圧ではない）の減算にて求める。20mmHg 未満であれば 0 点、20mmHg 以上であれば 2 点と分類する。

3. 不整脈の有無

12 誘導心電図解析結果について、不整脈のコメントが「無し」であれば 0 点、「ST-T 変化、T 変化以外の不整脈」、「ST-T 変化、T 変化」、「ST-T 変化、T 変化以外の不整脈+ST-T 変化、T 変化」の不整脈であれば 1 点と分類する。

4. 左室肥大の有無

12 誘導心電図解析結果について、左室肥大のコメントが「無し」～「軽度あり」であれば 0 点、「あり」であれば 2 点と分類する。

5. 除水速度

週始まりの月曜日または火曜日にかけた UFR が「10ml/h/kg 未満」であれば 0 点、「10ml/h/kg 以上」であれば 2 点と分類する。

6. 息切れ

以下の 4 段階のリッカートスケールであり得点が高いほど出現頻度が高いことを示す。

週始まりの月曜日または火曜日の透析治療中の息切れの頻度を患者に確認する（口頭でも書面でも可）。

- | |
|---------|
| 0.全くない |
| 1.ない |
| 2.少しある |
| 3.とてもある |

「0～2」と回答した患者は 0 点、「3」と回答した患者は 2 点と分類する。